

## JR6YTY 与那国島

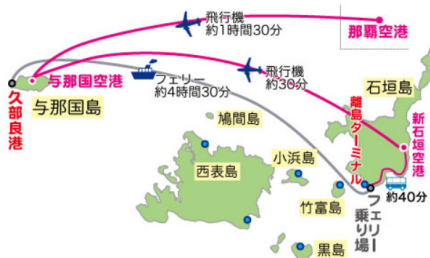


JA3IVU 北井 十生

昨年まで毎年1月に海外運用をしてきたJA3 パケーション運用グループもよる歳並みに勝てず2019年は国内運用でということから2016年1月のイースタ島(XR Φ YJ)での与那国島で与那国馬を育てている「風」牧場の田中さんとの出会いからの始まりだった。

今回のメンバーはJA3ARJJA3AVOJH3LSS(JA1CJA)JHPBLの5名。

与那国島は沖縄本島から500km、台湾まで120kmほどで日本最西端の島でもあり、大阪からは関空→石垣(約2時間半) 石垣→与那国(30分)が一般的です。関空から5時間もあれば行くことができます。



さて、国内ということで運用形態をどうするかと議論を重ね、移動する局では50Wに制限されるため200W局で運用することとした。まず運用する予定のゲストハウスあて開設同意書をお願いしたところ、心よく同意書をいただき、これも同封して「関西沖縄HAMクラブ」として10月下旬に沖縄総合通信事務所あて無線局免許申請書を提出した。3週間ほどたった11月13日付けで「JR6YTY」の免許を受けた。すぐにデジタルモードの追加のため変更申請書を提出し、2週間ほどで許可をいただいた。

次はアンテナ、同軸、アンテナポールなどと電源を先に送ることとした。アンテナは各バンドともDPで、衛星通信のリクエストもあったので144/430の八木も送ることとした。輸送は離島であるため往復ともゆうパックとした。ゆうパックが最も安かった。

12月中旬ごろ、郵便局に行き、与那国島まで何日にかかるかとときどき3日だという回答だった。これが後日、たいへんなことになるとは予想もしなかった。3日それは沖縄本島で離島であるが与那国島はもっとかかるのでは再度聞いても答えは同じ3日だった。

運用が1月6日から12日までなので1月5日に到着すればよいとのことで余裕を持って12月25日に八尾郵便

局に持ち込んだ。ところが12月28日になっても中継地の那覇中央郵便局から与那国島あて荷物が動かない。郵便局に問い合わせると那覇から船便になるとのことです。年末年始の運航休止と海のシケのため、まだ那覇のままだった。1月4日に船便があるので5日の午後には配達される予定だとの説明。しかし5日になっても那覇から動かない。再々聞くともたシケのため船がでなかった。このままではアンテナや電源が到着しない可能性が大となったため急ぎ予備のアンテナ、電源、同軸を手持ちで持ち込むこととした。

1月6日朝 06時自宅を出て、関空発8時35分のANAで石垣空港へ11時25分無事に石垣空港に到着した。12時25分発のRACで与那国空港へ出発する予定でカウンターに行くのと与那国空港天候不良により石垣空港に帰るといふ条件つき。まあ何とかなるだろうと飛行機に乗り込み、石垣空港を離陸した。すぐに雲中へ、30分ほどに与那国島が左手に見えてきた。当機は間もなく与那国空港に着陸しますとのアナウンスがあり、一同ホットとした。



雨と風の中、歩いて到着口へ、荷物はすぐ出てきた。出口にはゲストハウスの方が出迎えて、車に荷物を載せ、出発し10分ほどで着いた。



早速、ゲストハウスの方に部屋中等、キッチン等の説明があり、8畳くらい室と6畳くらいの室の2つが私たちの7日間過ごすこととなった。運用は同軸が入れやすい浜側の8畳の室とした。雨の中、アンテナを張るべき外へ出て、アンテナマスト

が到着していないため、近くにある4mほどの角材があったので、使用してもよいかと聞いたところ自由にどうぞということで4~5本借りた。マストを縛るヒモもなく、苦心しているとオーナーが木ねじと電動ドライバーを持ってきたテラスに締め付けてくれた。とりえず、40mと30mのDPを張った。夕方17時ころからやっとオンエアできるようになった。ワッチしてもSSB,CWはかすかに入っていた。FT8はたくさんの局が入感した。



JR6YTYは200Wの免許を受けていたが電源が到着していないため急ぎ持ち込んだ30Aの電源ではフルパワーでの運用はできなかった。FT8では200Wも必要ないので最大100W程度で運用した。このゲストハウスは素泊まりのみであるので3食とも自炊となった。1日目の夜は持ち込んだ食材とオーナーが用意してくれた魚をいただいた。近くにアンテナがあったのでJH3PBLが訪問したところ初対面にはかかわらず心よく招き入れてくれたそうだ。(さすが大阪のおばちゃん おっと失礼)



夕食時にこの局と2人の訪問があった。一人はJS6TKY山下さんでログを見ると3回QSOをしていた。(FT8でよく出ている方) もう一人は与那国出身の方だった。島には20人ほど免許を持った人がいたが今は4局でHFは少ないとのこと。理由は風が強くて大型のHFアンテナは上げられないとのこと。クラブ局は私たちのJR6YTYのみ。(後篇につづく)

# 淡路シャックの夜空

JA3AOP 杉山 暁

6月16日朝からのAll Asia CW コンテスト、今日の夜は月と金星がランデブーすることを思い出しマルチオペ・シングルTXのマルチ局の運用中でしたが、ニューマルチはなかなか現れないのでカメラを持って外に飛び出しました(2030jst)。すでに接近状態、西北西の空に向かって、真っ暗な中での照準合わせ、オートフォーカスは効かないし、露光もマニュアルで試し撮りをしながら絞り込む。

20:41-JST 焦点距離 200mm ISO-400 露出 1.6sec で捉えた三日月が【Venus\_Moon 01】の写真です。月の形を丸く浮き出させている地球照も撮れて、ますますです。

20:42-JST (焦点距離 89mm ISO-400 露出 1.6sec) ズームを少し引いて金星とのランデブーを撮れました。【Venus\_Moon 02】

次回の金星と月の接近は7月16日の夕から宵、西の低空です。

続いて、南の星空とシャックの写真【淡路夜景 01】。右のタワーの頂上でひと際輝くのは「さそり座」の中核アンタレス(1等星)、タワーの左に沿って緩やかなS字を描くさそり座です。屋根の上に尻尾が巻き上がっています。タワーや木々の一部を際立たせようとLEDヘッドライトで補助光をsweepしました。(焦点距離 18mm ISO-400 露出 30sec)

【淡路夜景 02】は前日に撮影のベランダから眺た洲本から由良方面の夜景です。これを眺めながらの網焼き肉は私の至福の時です。(焦点距離 75mm ISO-800 露出 1/2sec)

((CameraはCanon EOS Kiss X7i レンズSIGMA 18 - 200mm F:3.5-6.3))



Venus\_Moon 01



淡路夜景 01



Venus\_Moon 02



淡路夜景 02